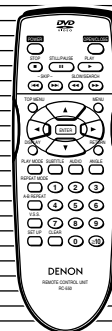
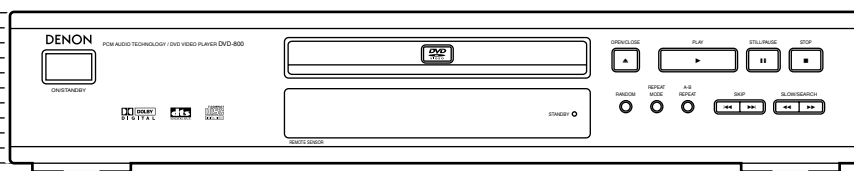
# DENON

## DVD ビデオプレーヤー

# DVD-800

## 取扱説明書

**安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。**

●お買い上げいただき、ありがとうございます。
●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
●お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

## DVD-Videoのリージョン番号について

DVD-Videoには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。
本機は、**「2」**（または**「2」**を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。
ディスクのジャケットもご参照ください。

例）
など

## 再生できるディスク

| 名称 | ロゴマーク | 記録内容 | 本書内マーク |
|---|---|---|---|
| DVD-ビデオ |   | 音声と映像 | DVD |
| ビデオCD | COMPACT disc DIGITAL VIDEO | 音声と映像 | VCD |
| 音楽CD | COMPACT disc DIGITAL AUDIO | 音声 | CD |

CD-R/RWも再生できます。（☞8ページ）

### ■ ジャケット上のマークについて

下記は一例です

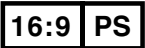
**＜音声数＞　＜字幕数＞　＜アングル数＞**

●数字は記録されている音声／字幕／アングルの数を示します。

**＜画面サイズ（横：縦）＞**

4:3 ●4：3の標準サイズ

LB ●レターボックス
（4：3で上下に黒帯が入った画面）

16:9 LB ●16：9のワイドサイズ
標準サイズのテレビではレターボックスで再生される。

16:9 PS ●16：9のワイドサイズ
標準サイズのテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される。

**＜記録されている音声の種類＞**

DOLBY DIGITAL ●ドルビーデジタル
本機では、このディスクを2チャンネルの音声で楽しめます。

dts DIGITAL OUT ●DTSデジタルアウト
DTSデコーダーを内蔵する機器（別売）と接続すると、DTSの音声を楽しめます。

## 再生できないディスク

- **フォトCD**
- リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVD
- PAL方式で記録されたDVD／ビデオCD
- DVD-ROM ● DVD-R ● DVD-RAM ● DVD-Audio ● DVD+RW
- DVD-RW ● CD-ROM ● CDV ● CD-G ● CVD
- VSD ● SVCD ● SACD

など

**お知らせ**

DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

# もくじ

# 安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

**■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

**■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
|  | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

## ⚠ 警告

### 電源コードについて

**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

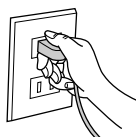
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

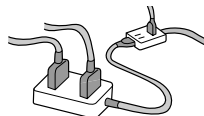
**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

- 感電の原因になります。

**電源プラグのほこり等は定期的にとる**

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

**コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない**

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 雷について

**雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない**

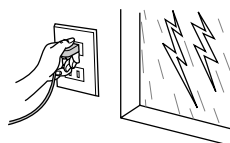
- 感電の恐れがあります。

### ご使用について

**機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない**

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

**分解、改造をしない**

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

### もし異常が起こったら

**異常があったときは電源プラグを抜く**

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

# ⚠ 注意

## 設置・接続について

**不安定な場所に設置しない**

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

**異常に温度が高くなるところに置かない**

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

**油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない**

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

## ご使用について

**コードを接続した状態で移動しない**

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

**ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する**

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

## 乾電池について

**電池は正しく取り扱う**

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

**電池は誤った使いかたをしない**

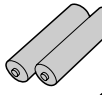
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

# 付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

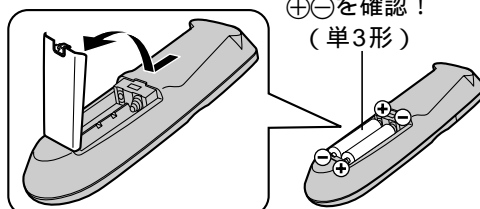
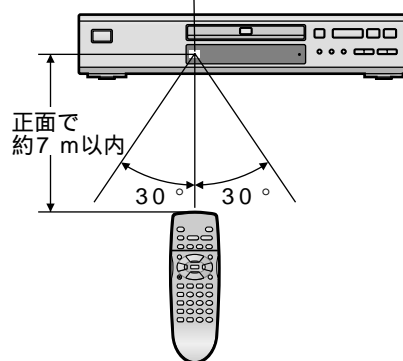
- □ **リモコン（1 個）**

- □ **音声／映像コード（1 本）**

- □ **リモコン用乾電池（2 本）**
  単 3 形

- □ **電源コード（1 本）**

- □ **取扱説明書（1 冊）**
- □ **サービス網一覧表（1 枚）**
- □ **保証書**
  （梱包箱に貼り付けられています。）

# リモコンの準備

## 乾電池（付属）を入れる

## リモコンの使用範囲



**お願い**

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。
- 受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

**本体をラックに入れて使用するとき**

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

# テレビと接続する

ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合の接続を説明しています。より迫力のある音声でお楽しみいただくときは 20 ページからの説明をご参照ください。

**お願い**

- 本機とテレビの電源を切ってください。またテレビの説明書もご参照ください。
- 本機をアンプなど高温になる機器の上に置かないでください。
- コードの色をご確認の上、正しく接続してください。

テレビ

本機

下記の映像入力端子を持つテレビに接続する場合は、映像コード（黄）のかわりに下記のいずれかの接続をすると、より鮮明な画像を得られます。すべての端子がテレビに付いている場合は「Q&A」（☞28 ページ）をご参照ください。

**S 映像入力端子付テレビ**　**コンポーネントビデオ入力端子付テレビ**　**D 映像入力端子付テレビ**

**テレビ側の接続端子**

S映像入力　コンポーネントビデオ入力　D映像入力

**S 映像コード（市販）**

**D 端子ピンケーブル（市販）**

**D 端子ケーブル（市販）**

**本機側の接続端子**

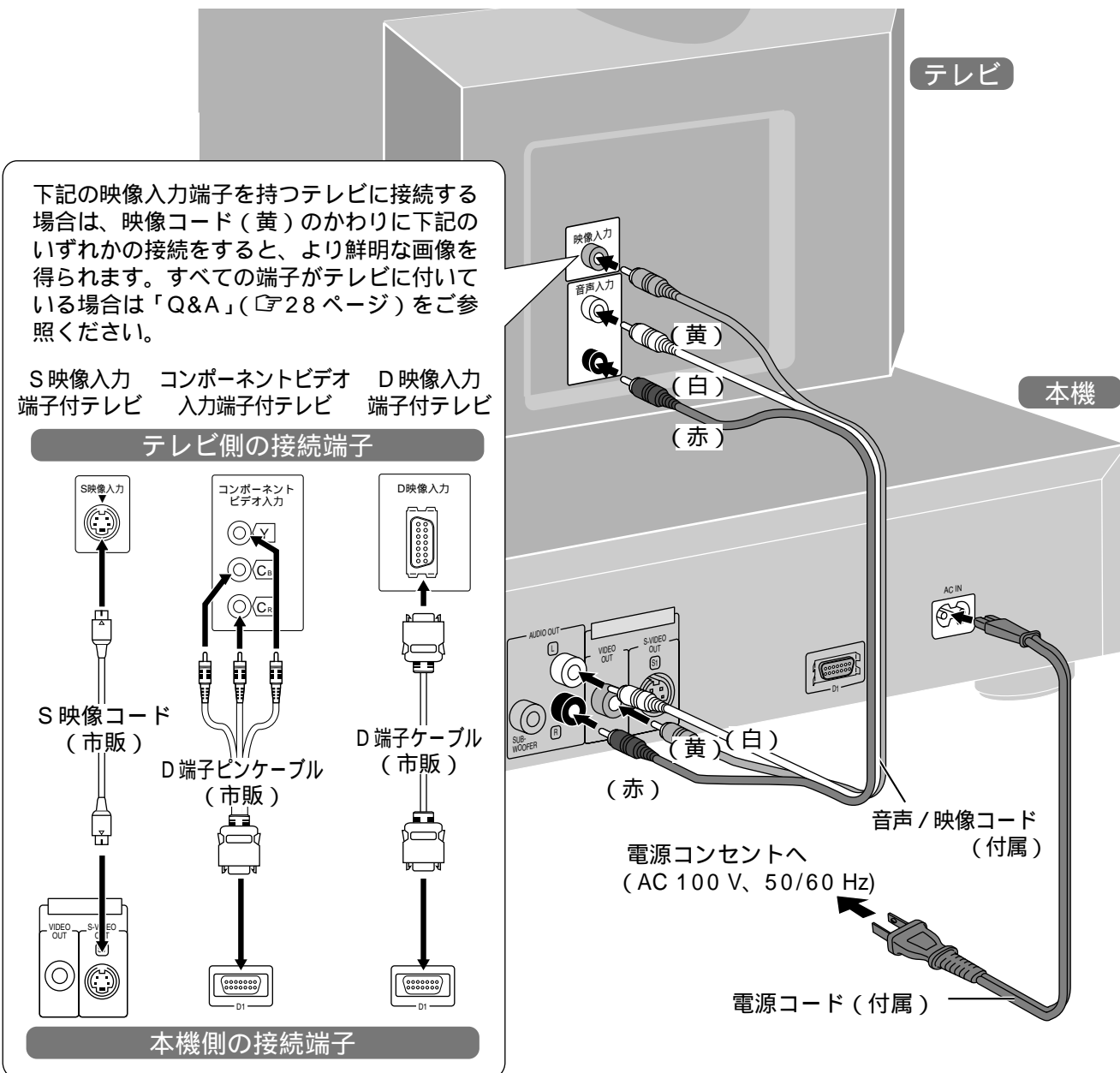
映像入力　音声入力

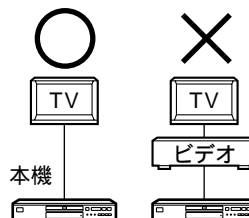
（黄）（白）（赤）

AUDIO OUT　VIDEO OUT　S-VIDEO OUT　SUB-WOOFER　AC IN　D1

**音声／映像コード（付属）**

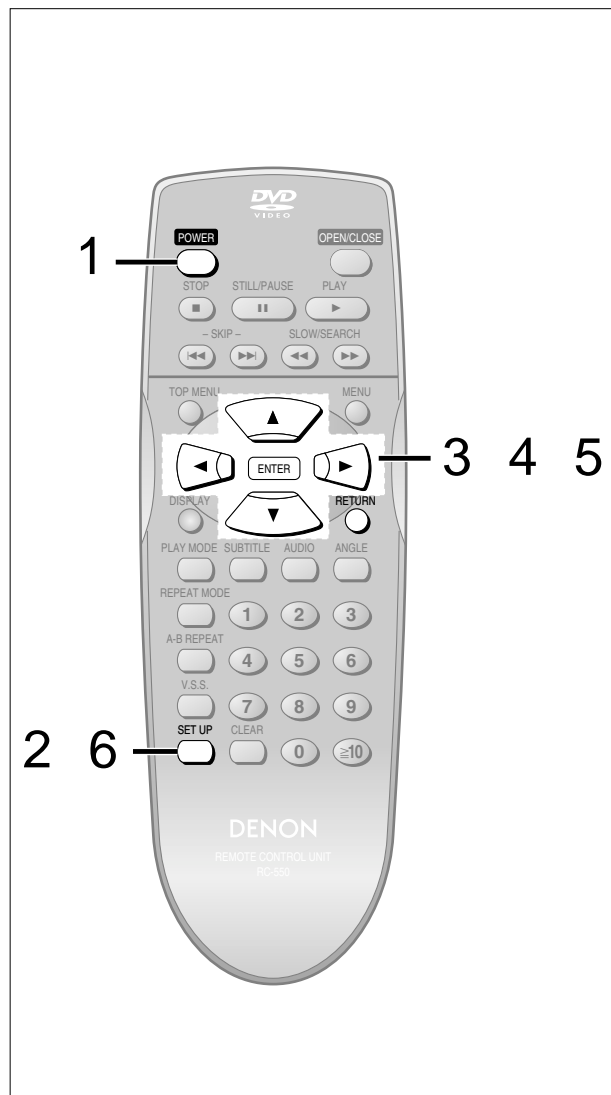
**電源コンセントへ**
（AC 100 V、50/60 Hz）

**電源コード（付属）**

**お願い**

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  ビデオテープレコーダーや AV セレクター経由で接続すると、著作権保護の影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- DVD に対応していない**ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。**（映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。）

# テレビに合わせて設定する

出荷時の設定は、テレビ画面の横縦比が“４：３パン&スキャン”になっています。
標準サイズのテレビに接続し、ワイドサイズのソフトをパン&スキャン（手順５参照）で映したい場合は設定を変える必要はありません。

**準　備**

テレビの電源を入れて、外部入力を切り換える。
(「ビデオ 1」など)

## ■ ひとつ前の画面に戻るには

**[RETURN]**を押す

**お知らせ**

DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。標準サイズのテレビ（４：３）への表示方法は右記の設定で選べますが、ワイドテレビ（16：9）をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。

**1**

押して
**電源を入れる**

**2**

押して
**初期設定画面を表示する**

**3**

押して
**“映像”を選ぶ**

**4**

押して
**“TV アスペクト”を選ぶ**

**5**

押して
**テレビ画面の横縦比を選ぶ**

- **４：３ パン&スキャン**
  標準サイズのテレビ（ワイドサイズのソフトをパン&スキャンで映したいとき）(①)
- **４：３ レターボックス**
  標準サイズのテレビ（ワイドサイズのソフトをレターボックスで映したいとき）(②)
- **16：9**
  ワイドサイズのテレビ

①

②

**6**

押して
**設定を終了する**

# 映画や音楽を楽しむ

再生したい側のラベルを上に

ディスクトレイ

SKIP

STOP

1 2 3

MENU

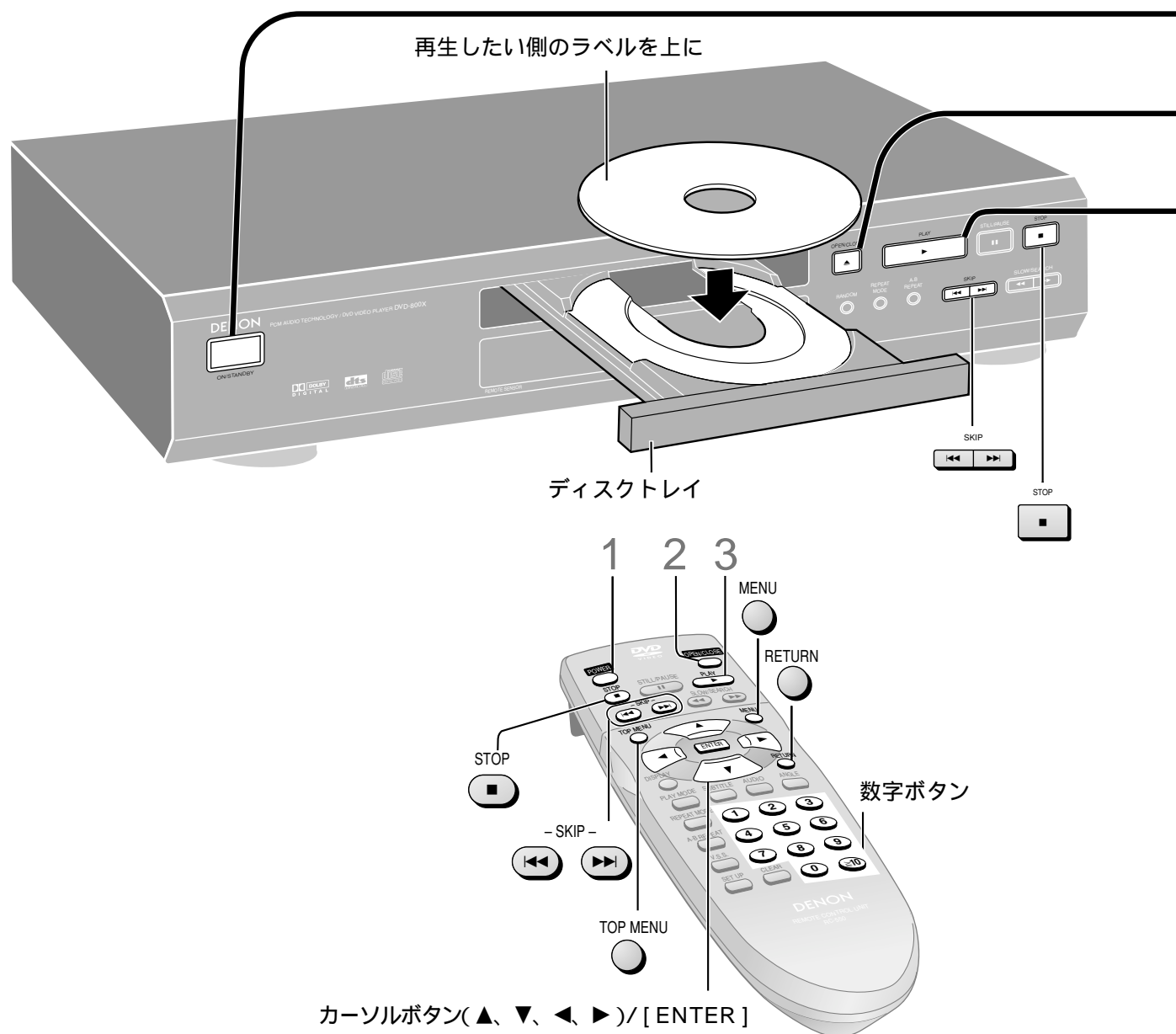
RETURN

STOP

数字ボタン

– SKIP –

TOP MENU

カーソルボタン(▲、▼、◄、►)／[ ENTER ]

**CD-R/CD-RW ディスクについて**

本機は、CD-DA フォーマットまたはビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるよう処理すること

**■節電のために**

停止状態で 30 分経過すると、自動的に電源が切れます。**(オートパワーオフ)** ただし本体やリモコンのボタンで電源を切った状態（スタンバイ状態）でも、約 2 W の電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

**■ "⃠" がテレビ画面に表示されたときは**

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。それぞれ下記のマークが表示されます。

ディスク側

本機側

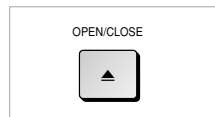
**お願い**

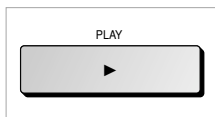
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは[■]を押して再生を停止してください。
- DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**再生したときにテレビの音量を上げた場合は、**テレビ放送に切り換える前に**必ず元の音量に戻してください。**突然大きな音が出ることがあります。

DVD VCD CD

## 1

押して
**電源を入れる**

## 2

押して
**トレイを開け、ディスクをおく**

## 3

**押す**

トレイが閉まり、再生が始まります。
（メニュー画面を表示したときは☞下記）

**表示窓**（例：DVDの場合）

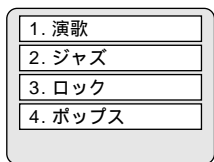
点灯　チャプター番号　再生経過時間

**お知らせ**

- 本体の［▲、OPEN/CLOSE］、［▶、PLAY］、リモコンの［OPEN/CLOSE］、［▶、PLAY］を押しても電源を入れることができます。すでにディスクが入っているときは、［▶、PLAY］を押すと、再生も始まります。
- 映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。

## メニュー画面を表示したときは

DVD VCD

例）

**数字ボタンを押して項目を選ぶ**

**■数字ボタンで2ケタの番号を入力するには**

例）25

- DVDの場合、**カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］**を押して項目を選び、**[ENTER]**を押しても選べます。
- 複数のメニューを持つ場合、ディスクによっては、**[|◀◀]**または**[▶▶|]**で変えられる場合があります。

**■メニュー画面に戻すには**

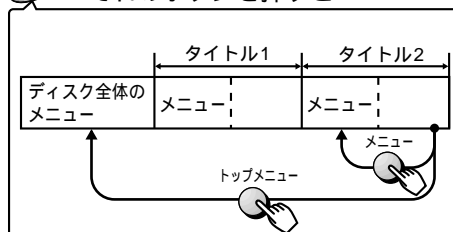
**<複数のメニューを持つDVDの場合>**

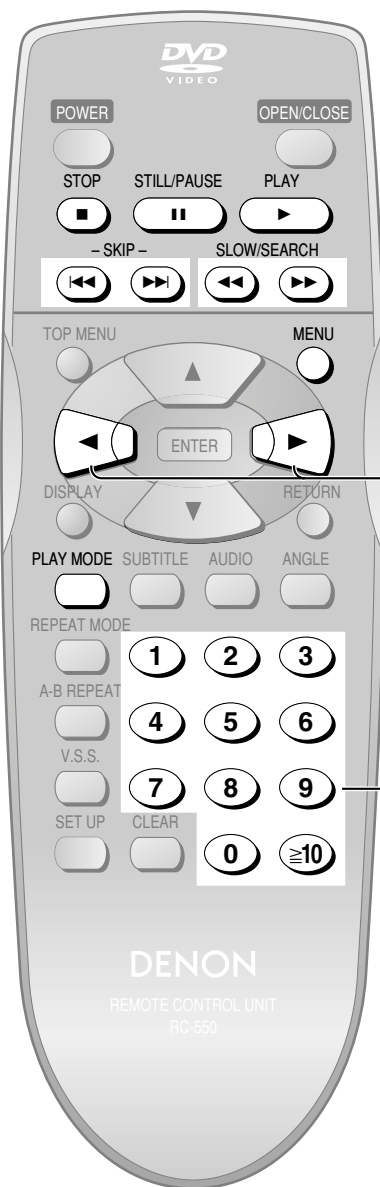
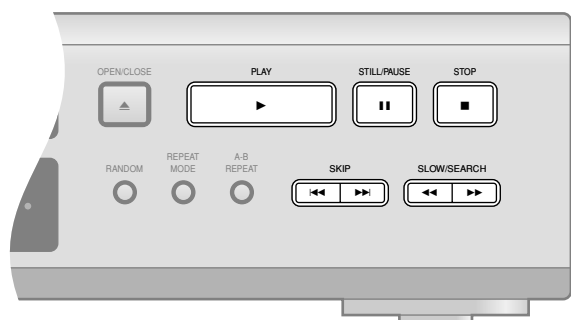
**[TOP MENU]**を押してもメニュー画面に戻すことができますが、**[MENU]**を押した場合とは異なるメニューが表示される場合があります。

**例えばタイトル2の再生中にそれぞれのボタンを押すと**

## 再生を止める

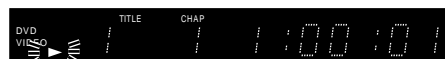
再生中

または

表示窓に“▷”が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。**（続き再生メモリー機能）**（☞10ページ）

# 映画や音楽を楽しむ（つづき）

■**早送り／早戻し、スロー再生、スキップについて**
メニュー再生中は、[ ⏮、⏭ ]や[ ◀◀、▶▶]が正しく働かないことがあります。

## 続き再生メモリー機能

再生中、[■]を押すと、押した位置が記憶されます。
**（続き再生メモリー機能）**

DVD VIDEO　TITLE 1　CHAP 1　1:00:01

“ ▷ ” 点滅中に**[▶]（PLAY）**を押すと、記憶した位置から再生が始まります。

**電源を切ったあと記憶させた位置から再生したいとき**

再生中、**[PLAY MODE]**を押す。（テレビ画面には“ 位置を記憶しました ” と表示されます。）
電源を切/入したあと**[▶]（PLAY）**を押すと、記憶した位置から再生が始まります。

[PLAY MODE]を押して位置を記憶させても、電源を切る前に[■]→[▶]（PLAY）を押すと、[■]を押した位置から再生が始まります。

**DVD の場合**
“ ▷ ” 点滅中に**[▶]（PLAY）**を押すと、右の画面を表示

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

表示中に**[▶]（PLAY）**を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。（**あらすじリプレイ**：同一タイトル内でのみ働きます。）
**[▶]（PLAY）**を押さずに放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

### ■続き再生メモリー機能を解除するには

表示窓の “ ▷ ” が消えるまで**[■]**を押す

**お知らせ**
- 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。さらに[■]を押して記憶した位置は、電源を切ったときも解除されます。
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

## 早送り・早戻しする

再生中

**リモコン**
**押す**
SLOW/SEARCH
◀◀　▶▶

または

**本体**
**押す**

[◀◀]：戻る　　[▶▶]：進む

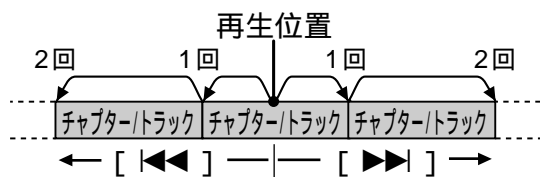
- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- **[▶]（PLAY）**を押すと、通常再生に戻ります。
- DVD ／ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。（“ 音声 ” の “ 早送り時の音声 ” ☞24 ページ）

## 場面（チャプター）・曲（トラック）を飛びこす

再生中／静止（一時停止）中

または

[⏮]：戻る　　[⏭]：進む

押した回数だけ飛びこします。

## 場面（タイトル）・曲（トラック）を番号指定で再生する

DVD　VCD※　CD

停止中

押す

選んだタイトル／トラックから再生が始まります。

- カラオケ DVD、ビデオ CD、CD の場合は再生中でも働きます。
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

**<※ PBC 付ビデオ CD の場合>**

メニュー再生を解除してから操作してください。

**1** 再生中、表示窓の“ **PBC PLAY** ”が消えるまで**[■]**を押す

**2** **数字ボタン**を押す

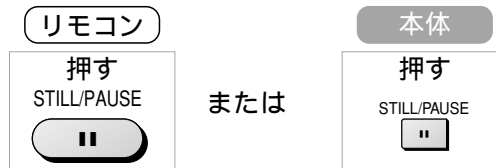
**■メニュー再生に戻すには**

**[■]**を押したあと、**[MENU]**を押す

表示窓に“ **PBC PLAY** ”が点灯します。

## 静止（一時停止）する

再生中

または

[▶]（**PLAY**）を押すと、通常再生に戻ります。

## スロー再生する

DVD　VCD

静止（一時停止）中

リモコン

押す
SLOW/SEARCH

または

本体

押す
SLOW/SEARCH

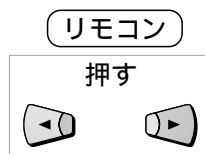
[◀◀]：戻る（DVD のみ）　[▶▶]：進む

- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- **[▶]**（**PLAY**）を押すと、通常再生になります。

## コマ送り・コマ戻しする

DVD　VCD

静止（一時停止）中

押す

**[◀]**：戻る（DVD のみ）　**[▶]**：進む

- 押し続けると、連続してコマ送り／コマ戻し再生になります。
- **[▶]**（**PLAY**）を押すと、通常再生になります。
- **[❚❚]**を押してもコマ送りできます。

# いろいろな再生を楽しむ

## 順不同に再生する（ランダム再生）

**VCD** **CD**

**1** 停止中

**押して**

**ランダム再生を選ぶ**

点灯 ── RND CD

押すたびに

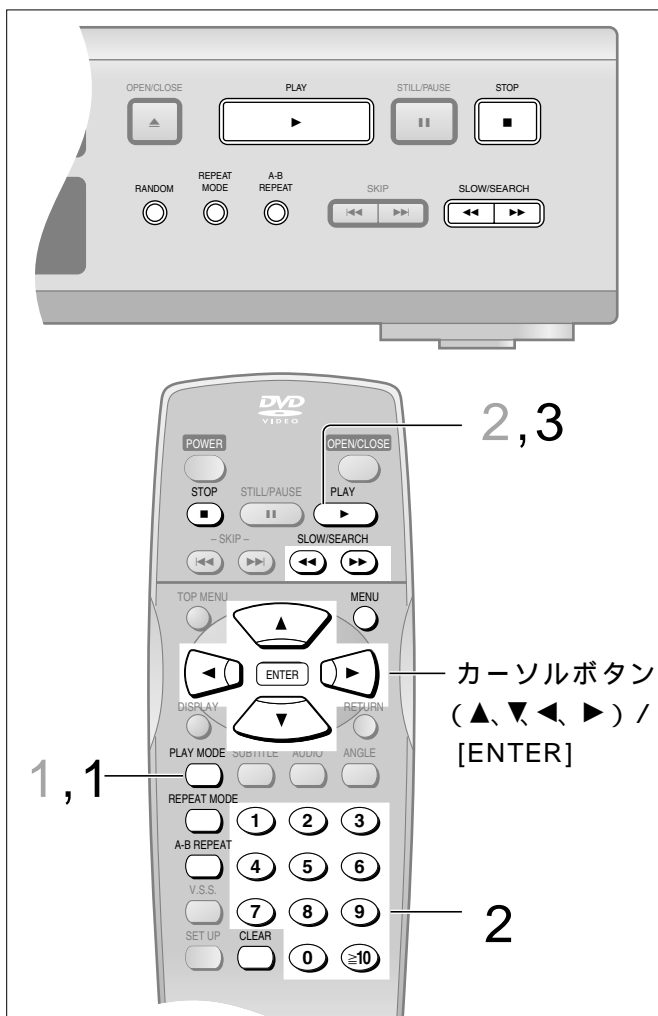
プログラム再生 → ランダム再生
↑―― 通常再生 ――┘

**2 [▶]（PLAY）を押す**

**■停止中、本体でもできます**

**[RANDOM]**を押したあと、**[▶]（PLAY）**を押す

**■ ランダムモードを解除する**

停止中にランダム再生画面が通常再生画面になるまで**[PLAY MODE]**を押してください

## 好みの順に再生する（プログラム再生）

**VCD** **CD**

最大 32 トラックまで好みの順に再生します。

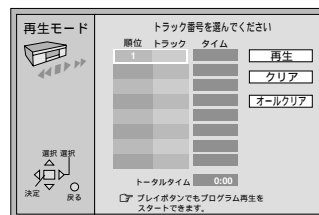
**1** 停止中

**押して**

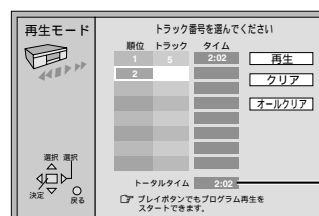
**プログラム再生を選ぶ**

押すたびに

プログラム再生 ⟶ランダム再生 ⟶通常再生
↑―――――――――――――――――――┘

点灯

**2 リモコンの数字ボタン**を押して

**トラック番号を選ぶ**

予約の合計時間を表示

続けてトラックを選ぶときは、手順 2 を繰り返してください。

- **カーソルボタンでトラックを選ぶこともできます**

**1 [ENTER]**を押したあと、**カーソルボタン [▲、▼]**を押してトラックを選ぶ

**2 [ENTER]**を押す

トラック番号　　予約順

**3 [▶]（PLAY）を押す**

**■ 予約を追加、変更する**

**1 カーソルボタン[▲、▼]**を押してトラックを選ぶ

**2** 手順 2 をくり返す

■ **プログラム画面のページを前後に移動する**

[◀◀]または[▶▶]を押す

■ **予約を１つずつ取り消す**

**1 カーソルボタン[▲、▼]**を押して取り消すトラックを選ぶ

**2 [CLEAR]**を押す

● **カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］**で**“クリア”**を選び**[ENTER]**を押しても操作できます。

■ **予約を全て取り消す**

**1 カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］**を押して**“オールクリア”**を選ぶ

**2 [ENTER]**を押す

■ **予約を解除する**

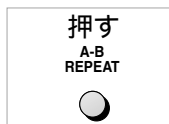
停止中にプログラム再生画面が通常再生画面になるまで**[PLAY MODE]**を押す

● 予約は電源を切るかトレイを開けるまで保持されます。

## 好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

同一タイトル／トラック内で、お好みの 2 点（A 点と B 点）を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

例）タイトル／トラック1｜タイトル／トラック2｜タイトル／トラック3（A→B）

再生中

押すたびに

B 点を指定すると、A-B リピート再生が始まります。

**お知らせ**

● ディスクによっては働かないものもあります。

● A-B リピート再生の B 点を指定する前にタイトル／トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。

● A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。

## 繰り返し再生する（リピート再生）

再生中

押すたびに

**＜DVD＞**

 →  →  

（チャプター） （タイトル全体） （通常再生）

**＜ビデオ CD※／CD＞**

  →  →  

（トラック） （ディスク全体） （通常再生）

**＜※ PBC 付ビデオ CD の場合＞**

メニュー再生を解除してから操作してください。

**1** 再生中、表示窓の“**PBC PLAY**”が消えるまで**[■]**を押す

**2 数字ボタン**でトラックを選び再生を始める

**3 [REPEAT MODE]**を押す

メニュー再生に戻すには、**[■]**を押したあと**[MENU]**を押してください。

**お知らせ**

● ディスクによっては働かないものもあります。

● DVD では、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

■ **好みのトラックを繰り返し再生する**

VCD CD

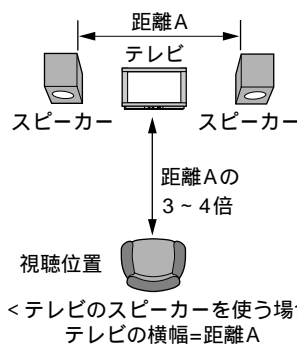
**1** 好みのトラックをプログラムする（☞12 ページ）

**2** プログラム再生中に**[REPEAT MODE]**を押し、を表示する

# 映画や音楽をもっと楽しむ

## バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ（V.S.S.）

**DVD**

**（ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）**
音に広がりを与え、フロントスピーカー（L ／ R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

**準備**

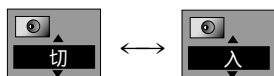
接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

**お知らせ**

- 「V.S.S.1」や「V.S.S.2」に設定していても、ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむ場合、[V.S.S.]を「切」にしてください。
- バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）が働いているときはフロントスピーカーからしか音声は出ません。

## 迫力ある重低音を楽しむ（BASS PLUS）

アクティブサブウーハー（アンプ内蔵）に接続（☞22ページ）したとき、「入」に設定すると、迫力ある重低音が楽しめます。

点灯

「切」⟷「入」をするたびに

設定方法は、「本機情報画面の表示例」の「音声設定」（☞19ページ）をご参照ください。

## 映画のセリフを聞き取りやすくする（CINEMA VOICE MODE）

DVD

**（ドルビーデジタル3ch以上で記録され、センターチャンネルにセリフが入っているディスク）**

映画など迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞き取りやすくします。

点灯

「切」⟷「入」をするたびに

設定方法は、「本機情報画面の表示例」の「音声設定」（☞19ページ）をご参照ください。

**お知らせ**

「入」に設定していても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

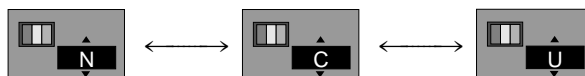
## 映画鑑賞向けの画質にする（CINEMA）

DVD VCD

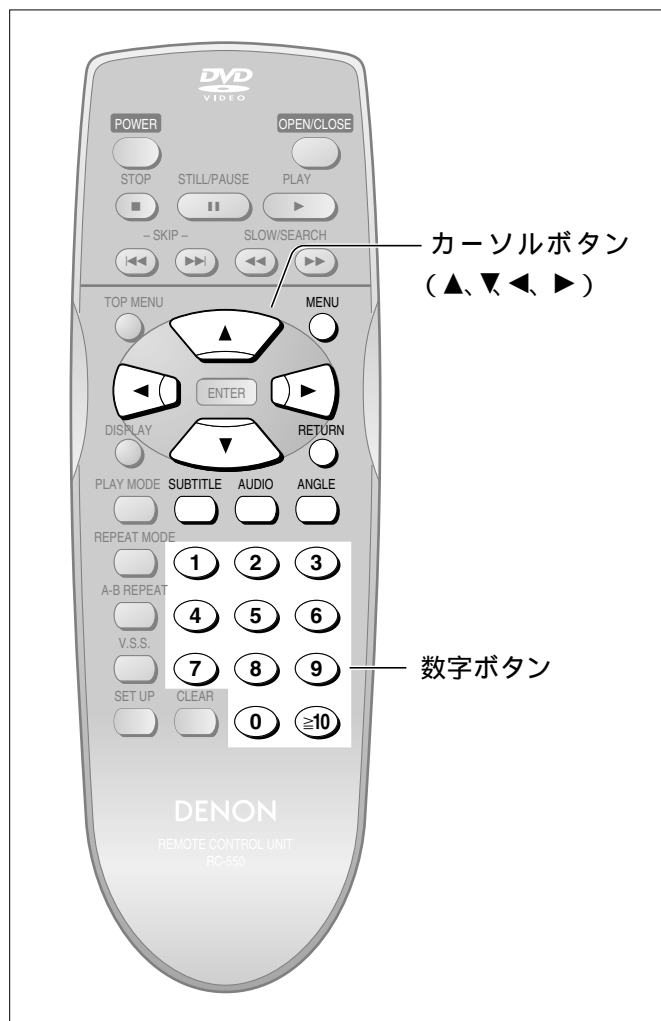
映画ソフトに最適な画質を設定することができます。

点灯

「通常の画質」⟷「映画鑑賞向けの画質」⟷「ユーザ画質」

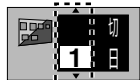
をするたびに

（通常の画質）　（映画鑑賞向けの画質）　（ユーザ画質）

● 「ユーザ画質」では好みの画質（コントラスト、ブライトネス、カラー）に調整することもできます。設定方法は、「本機情報画面の表示例」の「映像設定」（☞19ページ）をご参照ください。

# 映画や音楽をもっと楽しむ（つづき）

■音声／字幕／アングルの画面表示を消すには
**[RETURN]**を押す

■"🚫"が表示されたときは
ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため、入力できません。

**お知らせ**

- **カーソルボタン［▲、▼］**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- 一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は"△、▽"マークは表示されません。

- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください（☞"ディスクメニュー"24 ページ)。

## 音声を切り換える

**DVD**

再生中

**リモコン**

押すたびに切り換わります。
（音声が記録されていないときは"―"と表示）
例）


- カラオケディスクではボーカルの入／切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

## 字幕言語を切り換える

**DVD**

再生中

**リモコン**

押すたびに切り換わります。
（字幕が記録されていないときは"――"と表示）
例）


変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■字幕を「入」「切」するには

**1 カーソルボタン[▶]**を押す
**2 カーソルボタン［▲、▼］**で「入」「切」を選ぶ

## アングルを切り換える

**DVD**

再生中

**リモコン**

押すたびに番号が切り換わります。

# 絵表示（GUI画面）を使って操作する DVD VCD CD

## GUI（Graphical User Interface）とは
「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。

**■画面表示を消すには**

**[RETURN]**を押す

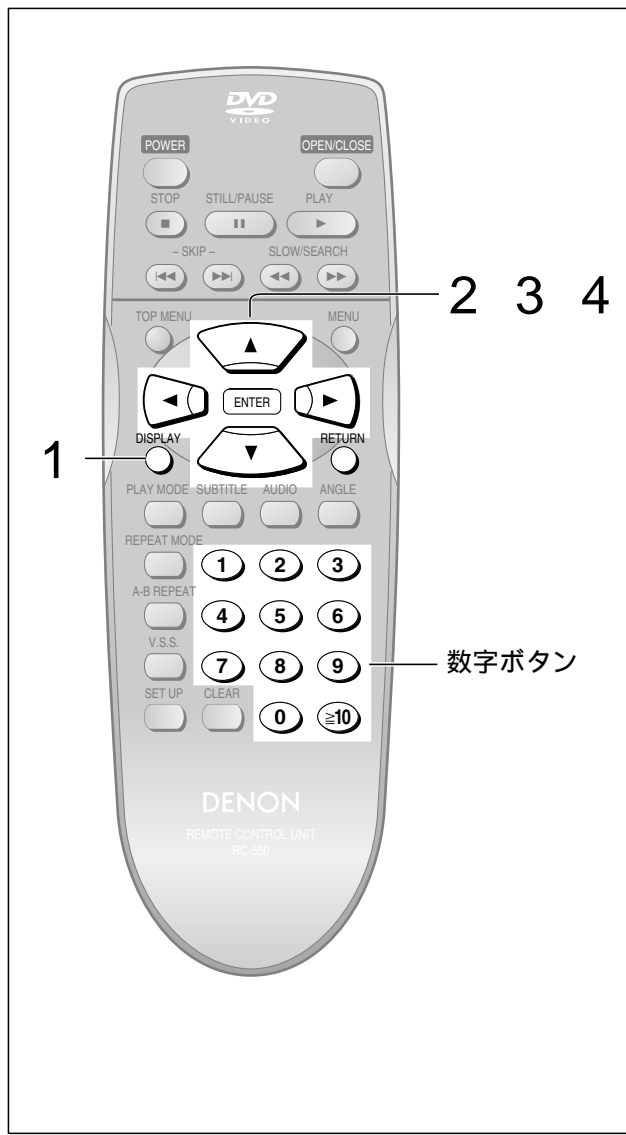
**■ GUI画面の位置を変えるには**

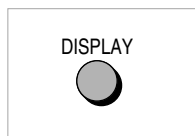
5段階の調整ができます。

1 **カーソルボタン［◄、►］** で矢印アイコン（右記）を選ぶ

例）

2 **カーソルボタン［▲、▼］** でGUI画面の位置を変える

**お知らせ**
- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。
- 枠の“ △、▽ ”マークはカーソルボタン［▲、▼］で変更できることを示します。

## GUI画面の操作方法

### 1

**押して**

**画面表示を切り換える**

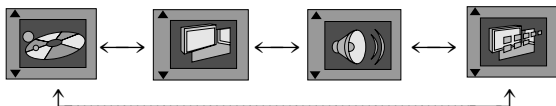
押すたびに切り換わります。

例、DVDの場合

### 2 （本機情報画面のみ）

**カーソルボタン［◄、►］** で、ハイライトを **メニュー切替位置** にし、**カーソルボタン［▲、▼］** で

**メニューを選ぶ**

押すたびに

### 3 カーソルボタン［◄、►］で

**項目を選ぶ**

内容については18、19ページをご覧ください。
シャトル画面の場合、この手順は不要です。

### 4 カーソルボタン［▲、▼］で

**内容を変更する**

変更が実行されないときは、**[ENTER]**を押してください。
**数字ボタン**で変更できるものもあります。

# 絵表示（GUI画面）を使って操作する（つづき）

## ディスク情報画面の表示例

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| 2 | **タイトル番号** DVD<br>**トラック番号** VCD CD<br>番号を選び**[ENTER]**を押す |
| 2 | **チャプター番号** DVD<br>番号を選び**[ENTER]**を押す |
| 1:46:50 | **経過時間** DVD<br>**数字ボタン**で指定した時間から再生開始<br>例）１時間４６分５０秒から再生するとき<br>**[1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[ENTER]**を押す |
| | **時間表示** VCD CD<br>：内容変更はできません。<br>再生中**カーソルボタン[▲、▼]**を押すたびに表示を変更する<br>→トラックの経過時間<br>↕<br>トラックの残り時間<br>↕<br>→ディスクの残り時間 |
| DD Digital 1 日 3/2.1 ch | **音声言語** DVD<br>（☞ 右記 ⓐ）<br>番号を選ぶとその音声で再生 |
| DD Digital 1 日 3/2.1 ch | **音声属性** DVD<br>（☞ 右記 ⓑ） |
| Vocal 1 ＊ 切 | **カラオケボーカル「入」「切」**<br>（カラオケDVDのみ）<br>**ソロ**　切 ⟷ 入<br>**デュエット**　切 ⟷ V1+V2<br>↕　↕<br>V2 ⟷ V1 |

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| 切 1 日 | **字幕番号** DVD<br>番号を選ぶと、その言語で再生（☞ 下記 ⓐ ） |
| 切 1 日 | **字幕「入」「切」**<br>字幕の「切」「入」の選択 |
| 1 | **アングル番号** DVD<br>番号を選ぶとそのアングルで再生 |
| L R | **音声チャンネル** VCD ：<br>チャンネルを選ぶとその音声で再生<br>→LR (左右チャンネルの音声)<br>↕<br>L (左チャンネルの音声)<br>↕<br>→R (右チャンネルの音声) |
| PBC 入 | **メニュー再生の「入」「切」状態表示**（PBC付 VCD）<br>：内容変更はできません。 |

### ⓐ 音声／字幕言語

| | | |
|---|---|---|
| **日**：日本語 | **伊**：イタリア語 | **露**：ロシア語 |
| **英**：英語 | **西**：スペイン語 | **韓**：韓国語 |
| **仏**：フランス語 | **蘭**：オランダ語 | **＊**：その他 |
| **独**：ドイツ語 | **中**：中国語 | |

### ⓑ 音声属性

**LPCM**／**DDDigital**／**DTS** ：信号タイプ
**k** ：サンプリング周波数
**b** ：ビット数
**ch** ：チャンネル数

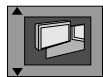
## シャトル画面の表示例

| アイコン | 内容 |
|---|---|
| ❚❚ | **静止／一時停止** |
| ◀❙ ❙▶ | **スロー再生**<br>◀❙ ：戻る DVD<br>❙▶ ：進む DVD VCD |
| ▶ | **再生** |
| ◀◀ ▶▶ | **早戻し／早送り**<br>◀◀ ：戻る　▶▶ ：進む |

**お知らせ**

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は５段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによっては、操作できないものもあります。

## 本機情報画面の表示例

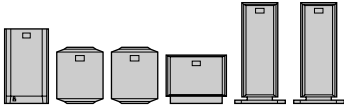
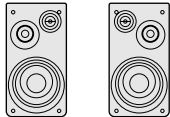
### 映像設定

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| | **画質モード** DVD VCD<br>カーソルボタン**[▲、▼]** でお好みの画質モードを選ぶ<br>**N**：通常画質<br>**C**：シネマ画質（☞15 ページ）<br>**U**：ユーザー画質<br><br>U を選ぶと、以下のアイコンも同時に表示され、カーソルボタン**[▲、▼、◀、▶]**で各種調整ができます。 |
| | **コントラスト**（－ 7 ～ ＋ 7）<br>映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける |
| | **ブライトネス**（0 ～ ＋ 15）<br>画面全体を明るくする |
| | **カラー**（－ 7 ～ ＋ 7）<br>色の濃さを調整する |

### 音声設定

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| | **バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）** DVD<br>(ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク)（☞14 ページ）<br>切⟷1⟷2<br>↑＿＿＿＿＿＿↑ |
| | **BASS PLUS**<br>(☞15 ページ)<br>切⟷入<br>アクティブ（アンプ内蔵）サブウーハーと接続するとき「入」を選ぶ |
| | **CINEMA VOICE MODE** DVD<br>(ドルビーデジタル 3ch 以上のディスク)（☞15 ページ）<br>切⟷入 |

### 再生設定

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| | **A-B リピート再生**（☞13 ページ）<br>再生中**[ENTER]**を押すたびに<br>A 点を指定 → B 点を指定<br>↑＿ 通常再生＿↑ |
| | **リピート再生**（☞13 ページ）<br>DVD<br>**C（チャプター）⟷ T（タイトル）**<br>↑＿ **切（通常再生）** ＿↑<br>VCD CD<br>**T（トラック）⟷ A（ディスク全体）**<br>↑＿ **切（通常再生）** ＿↑ |
| | **再生モード** VCD CD<br>:内容変更はできません<br>- - -：通常再生<br>PGM：プログラム再生<br>RND：ランダム再生 |
| | **マーカー**<br>もう一度再生したいところにマークを付ける（最大 5 ヵ所）<br>**[ENTER]**を押し、マークを付けたいところでもう一度押す<br>**他にマークを付けるには**<br>カーソルボタン[▶]を押し、マークを付けたいところで[**ENTER**]を押す。<br>**マークを呼び出すには**<br>カーソルボタン[◀、▶]でマークを選び[**ENTER**]を押す<br>**マークを取り消すには**<br>カーソルボタン[◀、▶]でマークを選び[**CLEAR**]を押す |

### 表示設定

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| | **IPB 表示** DVD<br>静止時に画像の種類（**I** ／ **P** ／ **B**）を表示する／しないを設定<br>**切⟷入** |
| | **FL ディマー**<br>本体表示窓の明るさを調整する<br>**明⟷暗⟷オート**※<br>※再生中には暗くなります。スロー再生や早送り、一時停止などをすると一時的に明るくなります。 |

# より迫力ある音声で楽しむ

本機はドルビーデジタルを 2 ch で楽しむことができます。ドルビーデジタルや DTS のサラウンドサウンドを楽しむにはドルビーデジタルや DTS デコーダー内蔵の機器を接続してください。（本機は DTS デコーダーを内蔵していません。）また、高音質の 96 kHz で楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のため 48 kHz に変換しないと音声がでません。

くわしくは各ページをご参照ください。『　』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定の項目です。

| こんなときは | こんな方法があります | 参照ページ | 設定内容 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| **5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ** | **<デジタル接続>**<br>AV アンプ<br>（デコーダー内蔵）<br>または<br>デコーダー＋ AV アンプと接続する | 21<br>A | **『音声メニュー』**<br>**● PCM ダウンサンプリング変換 ⇒“する”に設定**<br>**● Dolby Digital/DTS Digital Surround ⇒接続する機器に合わせて設定** | 26 |
| | | | **スピーカーの設定は、AV アンプまたはデコーダーで行ってください。** | — |
| **2 本のスピーカーでステレオサウンドを楽しむ／ドルビープロロジック※を楽しむ** | **<アナログ接続>**<br>アナログアンプやミニコンポと接続する | 21<br>B | **『音声メニュー』**<br>**● PCM ダウンサンプリング変換 ⇒“しない”** | 26 |
| | **<デジタル接続>**<br>デジタルアンプやミニコンポと接続する | 21<br>C | **『音声メニュー』**<br>**● PCM ダウンサンプリング変換 ⇒“する”**<br>**● Dolby Digital⇒“PCM”**<br>**● DTS Digital Surround ⇒“Off”** | 26 |
| **重低音を楽しむ** | アクティブサブウーハーと接続する | 22<br>D | **BASS PLUS を「入」にする** | 15 |

**こんなこともできます**

**MD やカセットテープに録音する**（☞22 ページ）

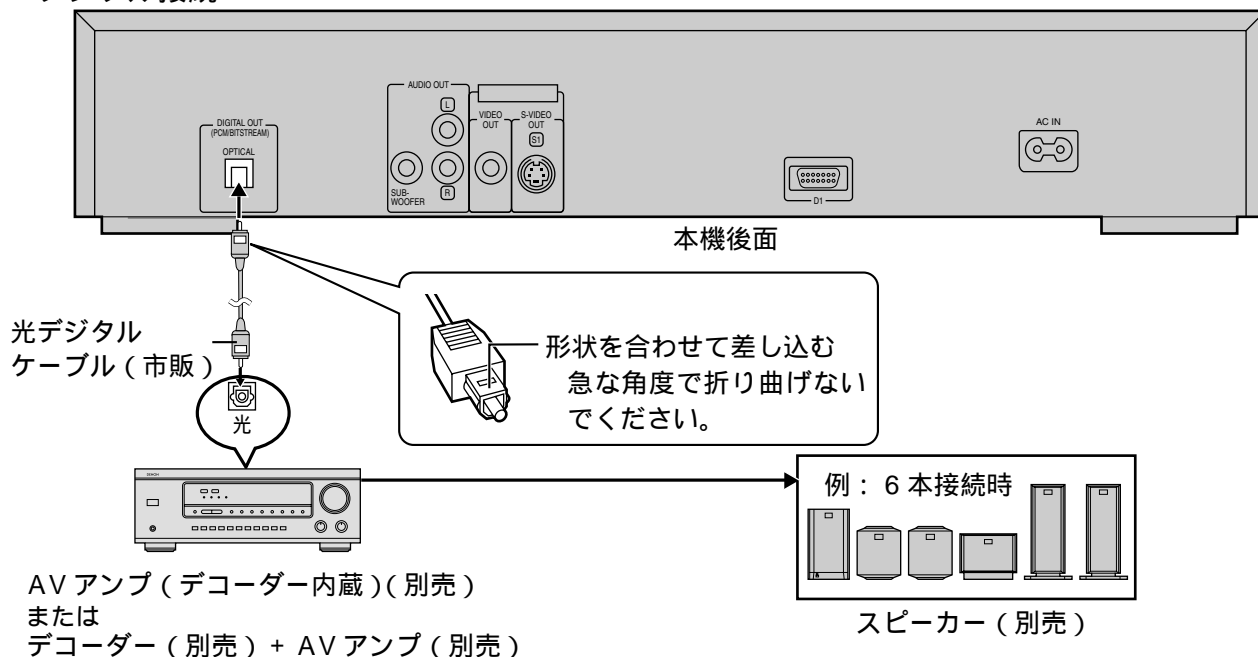
**お知らせ**

- 機器との接続は一例です。
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。

※**ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには**

2 本のスピーカー以外に、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。また、この場合バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）と BASS PLUS は「切」にしてください。V.S.S.を「1」（標準）、「2」（強）にしたり、BASS PLUS を「入」に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

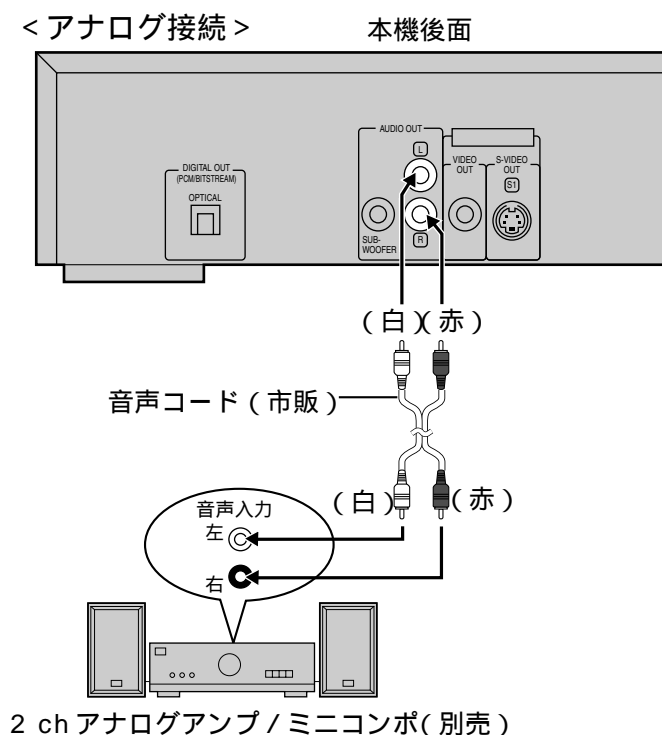
## A デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー＋AV アンプ）との接続

**＜デジタル接続＞**

**お知らせ**

- DVD に対応していない DTS デコーダーは使用できません。
- 接続する機器に合わせて「デジタル出力」の設定をしてください。（☞26 ページ）

## B アナログ音響機器との接続

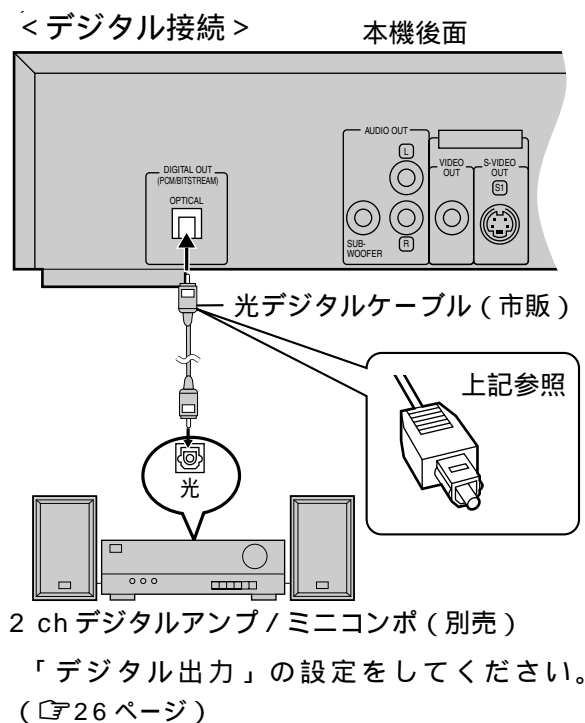
**＜アナログ接続＞**

**2 ch アナログアンプ／ミニコンポ（別売）**

- PCM ダウンサンプリング変換は「しない」に設定してください。（☞26 ページ）

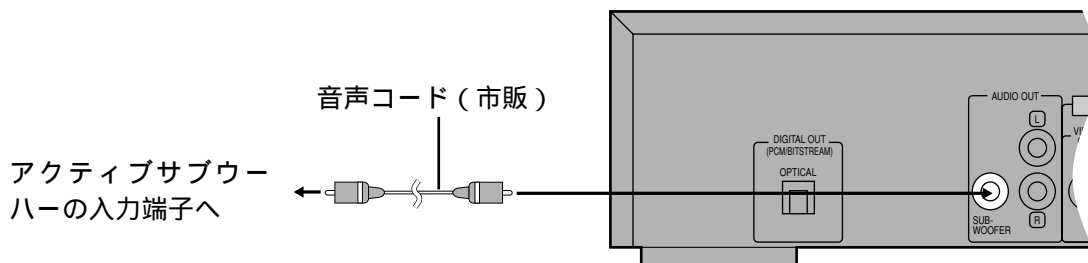
## C デジタル音響機器との接続

**＜デジタル接続＞**

**2 ch デジタルアンプ／ミニコンポ（別売）**

- 「デジタル出力」の設定をしてください。（☞26 ページ）

# より迫力ある音声で楽しむ（つづき）

## D　アクティブ（アンプ内蔵）サブウーハー（別売）と接続

アクティブサブウーハーを接続することにより、重低音を体で感じることができます。

●サブウーハーはできるだけ前方中央よりに置き、音量はサブウーハー側で調節してください。
●“BASS PLUS”を「入」にしてください。（☞15ページ）

---

こんなこともできます　**～MDやカセットテープに録音する～**

**<アナログ録音>**
アナログ信号に変換された音声を、著作権保護の影響を受けずにカセットテープやMDに録音できます。

### ■ アナログ録音するには

直接、音声コードで録音機器と接続してください。（☞21ページB）

**<デジタル録音>**
デジタル信号のままMDなどに録音できます。ただし全ての信号がリニアPCM48 kHz/16 bit以下に変換されます。また、DVDの場合、以下の条件が必要です。
●ディスクに著作権保護の処理がされていない。
●録音側の機器がサンプリング周波数48 kHz／16 bitに対応している。

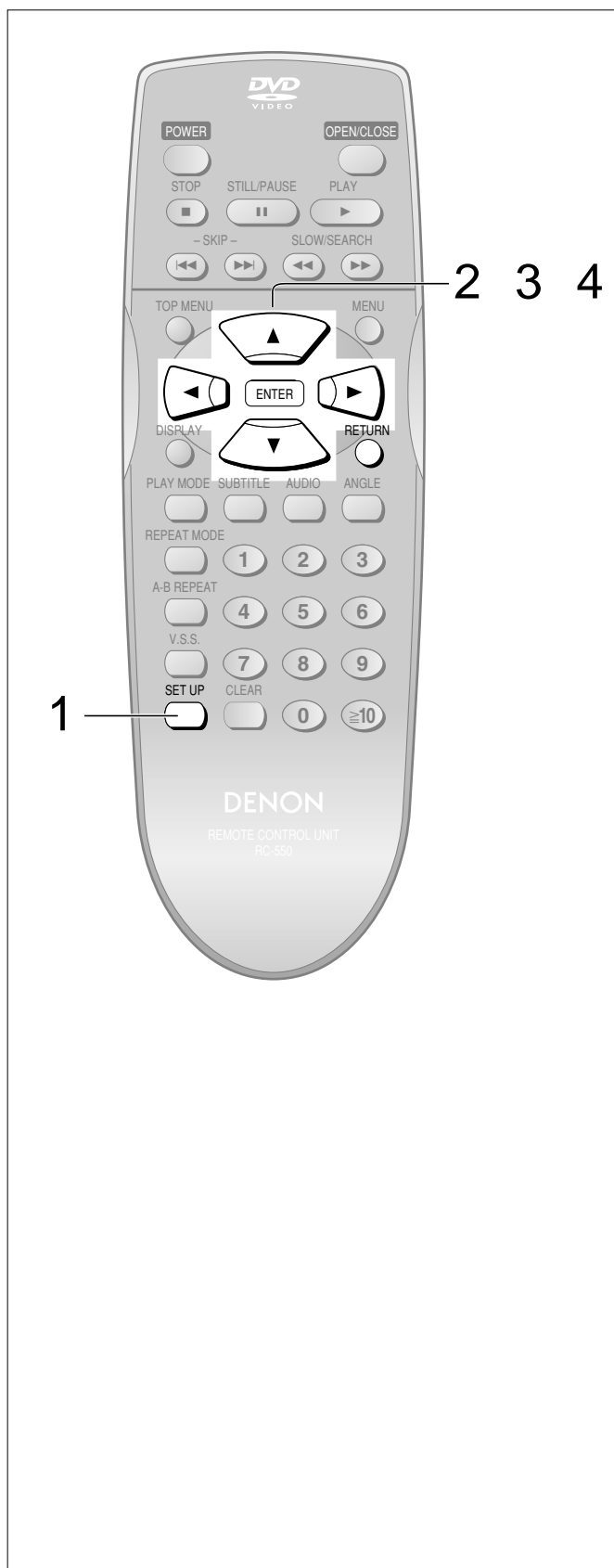
### ■ デジタル録音するには

●直接、光デジタルケーブルで録音機器と接続してください。（☞21ページC）
●DVDの場合、デジタル出力を以下のように設定してください。（☞26ページ）

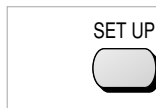
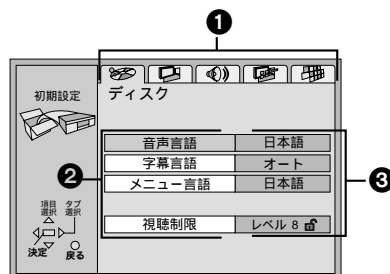
| | |
|---|---|
| “PCMダウンサンプリング変換” | ：“する” |
| “Dolby Digital” | ：“PCM” |
| “DTS Digital Surround” | ：“Off” |

# 初期設定を変更する

お知らせ

- 24、25 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。
- 電源を切っても次に変更するまで保持されます。

## 設定方法

**1**

**押して**

**初期設定画面を表示する**

❶ **タブ（メニュー項目）**

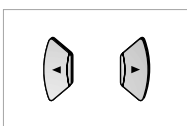
「ディスク」、「映像」、「音声」、「画面」、「その他」で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の詳細画面を呼び出します。

❷ **設定項目**

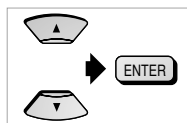
設定したタブ内の設定項目です。

❸ **設定内容**

設定項目の設定状態を表示します。設定項目を選ぶと、設定内容が表示されます。

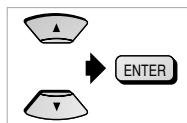
**2**

**押して**

**設定したいタブを選ぶ**

**3**

**押して**

**設定項目を選ぶ**

- [ENTER]を押すと、設定内容画面が表示されます。

**4**

**押して**

**設定内容を選ぶ**

- [ENTER]を押すと、初期設定画面に戻ります。

■ **ひとつ前の画面に戻るには**

[RETURN]を押す

■ **設定を終了するときは**

[SET UP]を押す

# 初期設定を変更する（つづき）

## 初期設定一覧表

設定方法については、23 ページをご覧ください。日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

| メニュー項目 | 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|---|
| **ディスク**［DVD］ | **音声言語**<br>言語（音声）が選べます。 | ● 日本語　● 英語<br>● オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2 |
| | **字幕言語**<br>言語（字幕）が選べます。 | ● オート※3　● 日本語<br>● 英語　● その他＊＊＊＊※2 |
| | **メニュー言語**<br>メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。 | ● 日本語　● 英語<br>● その他　＊＊＊＊※2 |
| | **視聴制限**（☞25 ページ）<br>DVD の視聴が制限できます。 | ● レベル 8　：すべてのディスクが再生可<br>● レベル 1 ～ 7 ：制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可<br>● レベル 0　：すべてのディスクが再生不可<br>● ロック解除 ● 暗証番号変更 ● レベル変更 ● 一時解除 |
| **映像**［DVD/VCD］ | **TV アスペクト**<br>お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。（☞7 ページ） | ● 4 ：3 パン&スキャン ● 4 ：3 レターボックス<br>● 16 ：9 |
| | **スチルモード**<br>静止画像の表示方法が選べます。 | ● オート　● フィールド　● フレーム |
| **音声** | **PCM ダウンサンプリング変換**［DVD］<br>96 kHz のリニア PCM で記録された音声信号を 48 kHz/16 bit に変換する／しないが選べます。（☞26 ページ） | ● しない　● する |
| | **Dolby Digital**［DVD］<br>接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2ch）に処理して出力するかが選べます。（☞26 ページ） | ● Bitstream　● PCM |
| | **DTS Digital Surround**［DVD］<br>上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行えます。（☞26 ページ） | ● Off　● Bitstream |
| | **音声のダイナミックレンジ圧縮**［DVD］（ドルビーデジタルのみ）<br>小音量でもセリフを聞き取りやすくします。 | ● 切　● 入 |
| | **早送り時の音声**［DVD/VCD］<br>早送りする時、音声が聞こえるようにするか、しないかが選べます。 | ● あり　● なし |
| **画面表示** | **画面メニュー言語**<br>初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。 | ● 日本語　● English（英語） |
| | **画面メッセージ**<br>操作時の表示をテレビ画面に表示する、しないが選べます。 | ● 入　● 切 |
| **その他** | **デモモード**<br>“する”を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。 | ● しない　● する<br>どのボタンを押しても停止します。 |

## ■ ディスクメニューについて

※1 “ オリジナル ”:ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 “ その他＊＊＊＊ ”: 数字ボタンで言語番号を入力します。
※3 “ オート ”:“ 音声言語 ”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

## ■ スチルモードについて

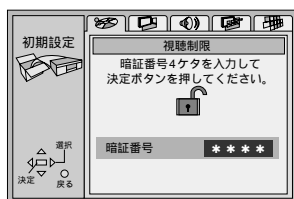
**フィールド**：粗めの静止画像が表示されます。“ オート ” 設定時にブレが生じるときに選びます。

**フレーム**　：画質のよい静止画像が表示されます。“ オート ”設定時に小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

### 言語番号一覧表

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アイスランド | ：7383 | オランダ | ：7876 | ジャワ | ：7487 | ドイツ | ：6869 | ベンガル（バングラ） | |
| アイマラ | ：6588 | カザフ | ：7575 | スウェーデン | ：8386 | ナウル | ：7865 | | ：6678 |
| アイルランド | ：7165 | カシミール | ：7583 | スロバキア | ：8375 | 日本語 | ：7465 | ペルシャ | ：7065 |
| アゼルバイジャン | ：6590 | カタロニア | ：6765 | スロベニア | ：8376 | ネパール | ：7869 | ポーランド | ：8076 |
| アッサム | ：6583 | ガリチア | ：7176 | スワヒリ | ：8387 | ノルウェー | ：7879 | ポルトガル | ：8084 |
| アファル | ：6565 | 韓国（朝鮮）語 | ：7579 | スンダ | ：8385 | ハウサ | ：7265 | マオリ | ：7773 |
| アフリカーンス | ：6570 | カンナダ | ：7578 | スペイン | ：6983 | ハンガリー | ：7285 | マケドニア | ：7775 |
| アブハジア | ：6566 | カンボジア | ：7577 | ズールー | ：9085 | バシキール | ：6665 | マライ（マレー） | ：7783 |
| アムハラ | ：6577 | キルギス | ：7589 | セルビア | ：8382 | バスク | ：6985 | マラッタ | ：7782 |
| アラビア | ：6582 | ギリシャ | ：6976 | セルボクロアチア | ：8372 | パシュト | ：8083 | マラヤーラム | ：7776 |
| アルバニア | ：8381 | クルド | ：7585 | ソマリ | ：8379 | パンジャブ | ：8065 | マルタ | ：7784 |
| アルメニア | ：7289 | クロアチア | ：7282 | タイ | ：8472 | ヒンディー | ：7273 | マダガスカル | ：7771 |
| イタリア | ：7384 | グアラニー | ：7178 | タタール | ：8484 | ビハール | ：6672 | モルダビア | ：7779 |
| イディッシュ | ：7473 | グジャラト | ：7185 | タミル | ：8465 | ビルマ | ：7789 | モンゴル | ：7778 |
| インターリングア | ：7365 | グリーンランド | ：7576 | タガログ | ：8476 | フィジー | ：7074 | ヨルバ | ：8979 |
| インドネシア | ：7378 | グルジア | ：7565 | タジク | ：8471 | フィンランド | ：7073 | ラオ | ：7679 |
| ウェールズ | ：6789 | ケチュア | ：8185 | チェコ | ：6783 | フェロー | ：7079 | ラテン | ：7665 |
| ウォロフ | ：8779 | ゲール（スコットランド） | | 中国語 | ：9072 | フランス | ：7082 | ラトビア（レット） | |
| ヴォラピュック | ：8679 | | ：7168 | チベット | ：6679 | フリジア | ：7089 | | ：7686 |
| ウクライナ | ：8575 | コーサ | ：8872 | ティグリニア | ：8473 | ブータン | ：6890 | リトアニア | ：7684 |
| ウズベク | ：8590 | コルシカ | ：6779 | テルグ | ：8469 | ブルガリア | ：6671 | リンガラ | ：7678 |
| ウルドゥー | ：8582 | サモア | ：8377 | デンマーク | ：6865 | ブルターニュ | ：6682 | ルーマニア | ：8279 |
| 英語 | ：6978 | サンスクリット | ：8365 | トウイ | ：8487 | ヘブライ | ：7387 | レトロマンス | ：8277 |
| エストニア | ：6984 | ショナ | ：8378 | トルクメン | ：8475 | ベトナム | ：8673 | ロシア | ：8285 |
| エスペラント | ：6979 | シンド | ：8368 | トルコ | ：8482 | ベロルシア（白ロシア） | | | |
| オーリヤ | ：7982 | シンハラ | ：8373 | トンガ | ：8479 | | ：6669 | | |

## 視聴制限（設定方法 ☞ 23 ページ）

お子さまなどに見せたくない DVD がそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル 7 以下を選んだときは**数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力し、**[ENTER]**を押し、もう一度**[ENTER]**を押してください。（ロックがかかります。）間違った数字を入力してしまったときは、**[ENTER]**を押さない限り**[CLEAR]**または**カーソルボタン（◀）**を押すと取り消せます。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは “ 0　すべて不可 ”を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。**暗証番号は忘れないでください。**

### ■ 制限内容を変更するには（レベル 0 〜 7 のとき）

まず**数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力し、**[ENTER]**を押してください。

**ロック解除**　　：制限を解除してレベル 8 に戻す
**暗証番号変更**　：暗証番号を変更する
**レベル変更**　　：制限レベルを変更する
**一時解除**　　　：一時的に制限を解除する

- “ 一時解除 ” を選ぶと、電源を切るかトレイを開けるまでレベル 8 の状態が続きます。

操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

## デジタル出力の設定

本体のデジタル音声出力端子と接続するときに設定します。

カーソルボタン**[▲、▼、◀、▶]**で設定を変更し、**[ENTER]**を押す。（☞23 ページ）

### ■ 設定内容

**＜ PCM ダウンサンプリング変換＞**

- **しない**：音声コードでアナログ接続したとき
- **する**：光デジタルケーブルでデジタル接続したとき。著作権保護のため、出力は 48 kHz ／ 16 bit 以下に制限されます。

**〜 96 kHz で記録された DVD を再生するときは〜**

接続方法（☞21 ページ）と PCM ダウンサンプリング変換の設定により、以下のような音声が出力されます。

| 接続例／設定 | アナログ | デジタル |
|---|---|---|
| **しない** | 96 kHz で出力 | 出力しない（著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力※） |
| **する** | 48 kHz に変換され出力 | 48 kHz ／ 16 bit に変換され出力 |

※ ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応していることが必要です。

**＜ Dolby Digital ＞**

- **Bitstream**：ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続するとき
- **PCM**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

**＜ DTS Digital Surround ＞**

- **Off**：DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続するとき
- **Bitstream**：DTS デコーダー内蔵の機器と接続するとき

**お願い**

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず “ Dolby Digital ” を “ PCM ” に、“ DTS Digital Surround ” を “ Off ” に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

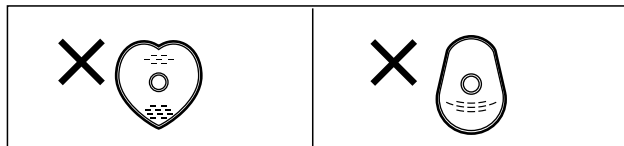
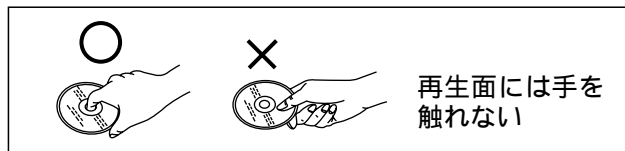
**音のエチケット**

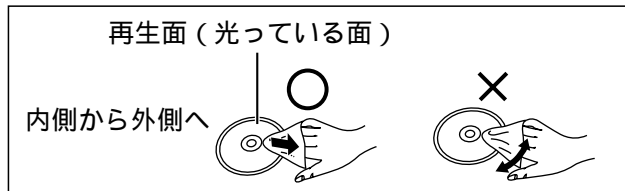
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット
シンボルマーク

# 使用上のお願い・お手入れ

## ディスクについて

ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
（機器の故障の原因となります。）

### ■ 持ちかた

### ■ 汚れたときは

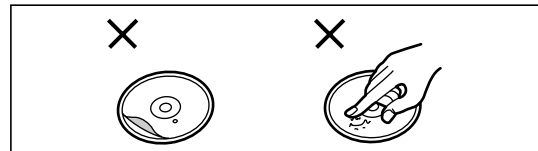
水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

### ■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

## ディスクの保管

次のような場所は避けてください。
- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

### ■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

## お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

**お知らせ**
- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

# 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992 － 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

「DTS」および「DTS ディジタルアウト」は DTS 社の商標です。

# Q & A（よくあるご質問）

| | Q（質問） | A（回答） | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 接続／設置について | **ドルビーデジタルやDTSの5.1chサラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か** | デコーダー内蔵のAVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と6本のスピーカーを用意すれば、5.1chサラウンド音声がお楽しみになれます。 | 21 |
| | **ハイビジョンテレビに接続できるのか** | 接続できます。より良い映像のために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをお薦めします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。 | 6 |
| | **S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか** | コンポーネントビデオ入力端子またはD端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子またはD端子に接続することをおすすめします。 | 6 |
| | **LDと接続できるか** | 本機には接続できません。 | — |
| | **引っ越しても使えるか** | 東日本、西日本に関係なく使えます。 | — |
| | **海外でも使えるか** | 本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。 | — |
| 使いかたについて | **海外で買ったDVDは再生できるか** | リージョン番号が**「ALL」**もしくは**「2」**を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。 | 2 |
| | **海外で買ったビデオCDは再生できるか** | 映像方式がNTSCであれば再生できます。 | — |
| | **リージョン番号がないディスクは再生できるか** | DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDは再生できません。 | — |
| | **CD-Gは再生できるか** | 再生できません。 | — |
| | **ビデオで録画できるか** | ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。 | — |

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

| | こんなときは | ここをお確かめください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源について | **電源が入らない** | 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。 | 6 |
| | **勝手に電源が切れる** | 停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。**（オートパワーオフ）**<br>再度電源を入れ直してください。 | ― |
| 操作について | **各ボタン操作ができない** | ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。 | ― |
| | | 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。 | ― |
| | **リモコンが働かない** | 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。 | 5 |
| | | リモコン受信部に向けて正しく操作してください。 | 5 |
| | **[▶、PLAY] を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）** | 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。 | ― |
| | | 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 | 2 |
| | | ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 | 27 |
| | | ディスクを正しくセットしてください。 | 8 |
| | | 初期設定 “ 視聴制限 ” の設定を確認してください。 | 25 |
| | **音声／字幕言語が切り換えられない** | 複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 | ― |
| | | 音声／字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。 | ― |
| | **字幕が出ない** | 字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。 | ― |
| | | 字幕が “ 切 ” になっている場合は、字幕を “ 入 ” にしてください。 | 16 |
| | | A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。 | ― |
| | **アングルを変えて見ることができない** | 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。 | ― |
| | **視聴制限で設定した暗証番号を忘れた**<br>**すべての設定を、工場出荷時に戻したい** | 以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。<br>**1** 停止中、本体の**[❚❚、STILL/PAUSE]**と**[⏮]**を押しながら、テレビ画面の “ オールクリア ” が消えるまで**[⏏、OPEN/CLOSE]**を押す<br>**2** 本体の電源を一度**「切」「入」**する | ― |

# 故障かな!?

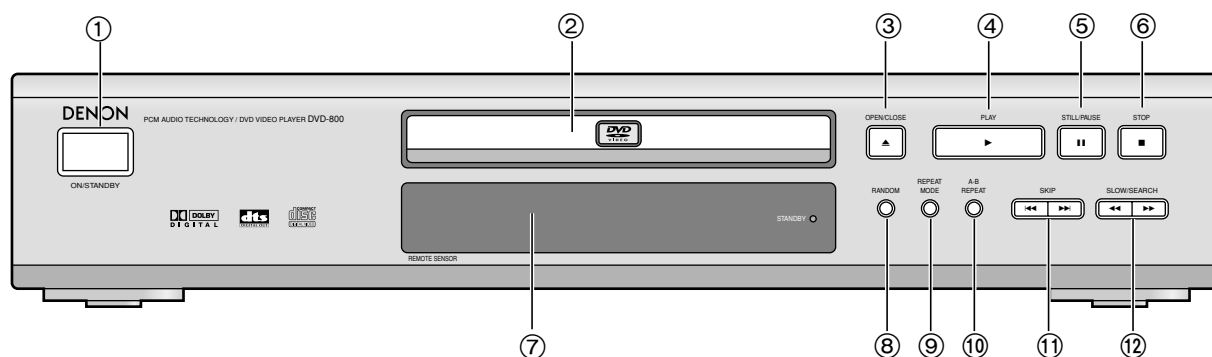
| | こんなときは | ここをお確かめください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 音声について | 音声が出ない | 接続した機器の音量を確認してください。 | — |
| | | 接続、設定を確認してください。 | 6、21、22<br>26 |
| | | 接続した機器の入力切り換えは正しいですか？ | — |
| | | 3 本以上のスピーカーをつないでいるときは、V.S.S. を“ 切 ”にしてください。 | 14 |
| | 耳を刺激するような音が出る | 他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定で、接続した機器に応じて“ Dolby Digital ”や“ DTS Digital Surround ”を正しく設定してください。 | 26 |
| 映像について | 早送り／早戻しをしたら画像が乱れる | 多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 | — |
| | テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい） | 接続を確認してください。 | 6 |
| | | テレビの電源は入っていますか？ | — |
| | | テレビの入力切換は正しいですか？ | — |
| | | 初期設定“ 映像 ”の“ TV アスペクト ”は正しく設定されていますか？ | 7 |
| | | テレビ側の画面モードを変更してください。 | — |
| 表示について | 表示窓に“ NO PLAY ”と表示する | 再生できないディスクが入っています。 | 2 |
| | | 初期設定“ 視聴制限 ”で再生を制限されているディスクが入っています。 | 25 |
| | 画面メッセージが出ない | 初期設定“ 画面表示 ”の“ 画面メッセージ ”を「入」にしてください。 | 24 |
| | GUI 画面が欠ける（または表示されない） | GUI 画面表示中、カーソルボタン[◀、▶] を押して右側の矢印アイコンを選び、[▲、▼] を押して変更してください。 | 17 |
| | 画面に“ ディスクを確認してください ”と表示する | ディスクがよごれています。 | 27 |
| | 表示窓に“ H □□ ”と表示する（□□は数字） | 異常が発生しました。（“ H ”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。 | — |
| | 表示窓に“ NO DISC ”と表示する | ディスクが入っていません。 | — |
| | | ディスクが正しく入っていません。 | — |

**■処置をされても表示が消えないときは**

お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。（例 :“ H01 ”の場合 **「H01」**）

# 各部のなまえとはたらき

（　）内は参照ページを表しています。

## 本体

①**[ON/STANDBY]（電源）ボタン**（9）
電源を「入」、「切」する

②**ディスクトレイ**（8）

③**[▲、OPEN／CLOSE]（開／閉）ボタン**（9）

④**[▶、PLAY]（再生）ボタン**（9）

⑤**[❚❚、STILL/PAUSE]（一時停止）ボタン**（11）

⑥**[■、STOP]（停止）ボタン**（9）

⑦**表示窓（下記）**

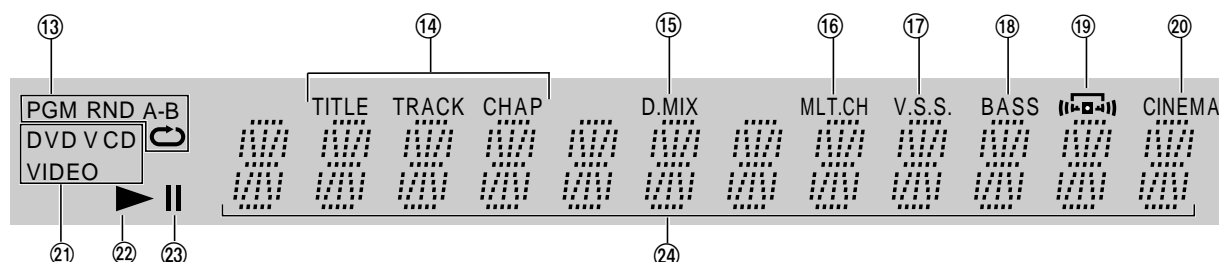
⑧**[RANDOM]（順不同）ボタン**（12）
順不同に再生する

⑨**[REPEAT MODE]ボタン**（13）
繰り返し再生する

⑩**[A-B REPEAT]ボタン**（13）
指定した二点間を繰り返し再生する

⑪**[|◀◀、▶▶|]（スキップ）ボタン**（11）

⑫**[◀◀、▶▶、SLOW/SEARCH]ボタン**（10）

## 表示窓

⑬**再生状態表示**
PGM　：プログラム再生
RND　：ランダム再生
⭮　：リピート再生
A-B ⭮　：A-B リピート再生

⑭**メイン表示部の表示モード**
TITLE：タイトル番号／TRACK：トラック番号
CHAP：チャプター番号

⑮**D.MIX 表示**
マルチチャンネルのサウンドトラックがダウンミックス許可されていることを表します

⑯**MLT.CH 表示**
マルチチャンネルのサウンドトラックを再生しているとき点灯

⑰**V.S.S. 表示**
バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）が「入」のとき点灯

⑱**BASS 表示**
BASS PLUS が「入」のとき点灯

⑲**CINEMA VOICE MODE 表示**
CINEMA VOICE MODE が「入」のとき点灯

⑳**CINEMA 表示**
画質モードがシネマ画質のとき点灯

㉑**ディスク表示**
DVD VIDEO：DVD ビデオ
VCD　：ビデオ CD
CD　：音楽 CD

㉒**再生表示**

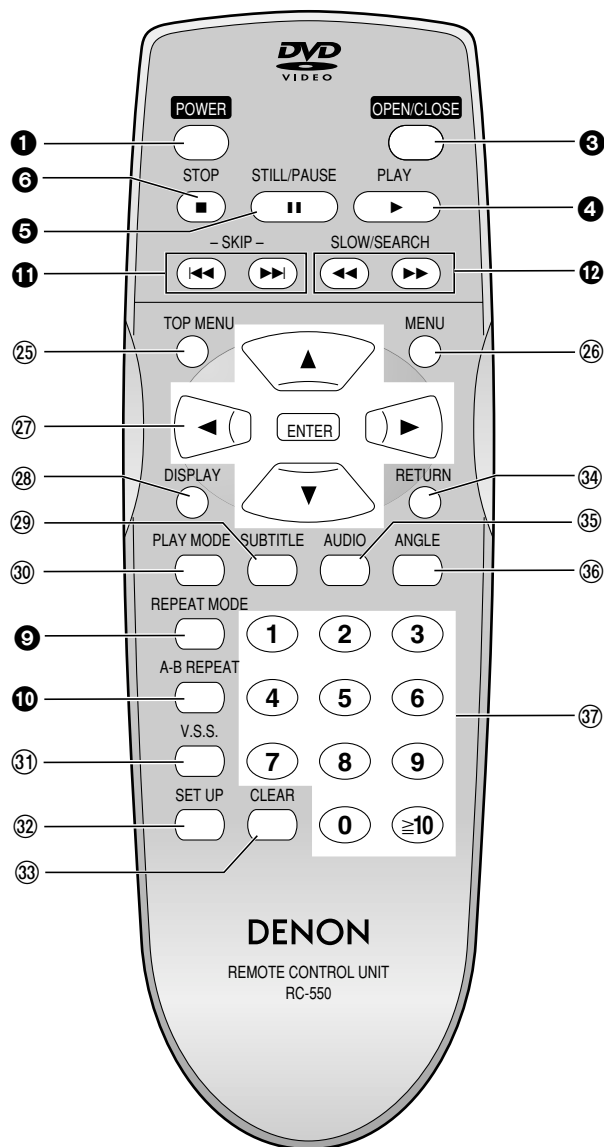
㉓**静止（一時停止）表示**

㉔**メイン表示部**
再生経過時間やトラック番号、各種メッセージなどを表示

# 各部のなまえとはたらき

（　）内は参照ページを表しています。

## リモコン

❶ や ❸ などのボタンは、本体のボタンと同じはたらきをします。

㉕**[TOP MENU]ボタン**（9）
ディスクメニューを表示する

㉖**[MENU]ボタン**（9）
ディスクメニューを表示する

㉗**[▲、▼、◀、▶] カーソルボタン／[ENTER]（決定）ボタン**（9）

㉘**[DISPLAY]（画面表示） ボタン**（17）
GUI 画面を表示する

㉙**[SUBTITLE]（字幕）ボタン**（16）
DVD の字幕言語を切り換える

㉚**[PLAY MODE]（再生モード）ボタン**（12）
「通常再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える

㉛**[V.S.S.]ボタン**（14）
V.S.S. のレベルを変えたり、「入」「切」する

㉜**[SET UP]（初期設定）ボタン**（7、23）
初期設定画面を表示する

㉝**[CLEAR]（取消し）ボタン**（13）
入力した数字を取消す

㉞**[RETURN]ボタン**（9）
メニューを一つ手前に戻す

㉟**[AUDIO]（音声）ボタン**（16）
DVD の音声言語を切り換える

㊱**[ANGLE]（アングル）ボタン**（16）
マルチアングルが記録されている DVD で、角度を切り換える

㊲**数字ボタン**（9）

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

**修理・お取り扱い・お手入れ**
などのご相談は…
**まず、お買い上げの販売店へ**
お申し付けください

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（コロムビアサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

# 主な仕様

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 電源 | AC 100 V　50／60 Hz |
| 消費電力 | 10 W（電源「スタンバイ」時　約2 W） |

| 項目 | 内容 | |
|---|---|---|
| 外形寸法 | 434（幅）×247（奥行）×82（高さ）mm<br>突起物を含む | |
| 質量 | 約2.6 kg | |
| 許容周囲温度 | +5～35℃ | |
| 許容相対湿度 | 5～90％RH（結露なきこと） | |
| 再生可能ディスク | ● DVD-ビデオ　● 音楽用CD（CD-DA）<br>● ビデオCD<br>● CD-R/RW（CD-DA、ビデオCDフォーマットのディスク） | |
| 信号形式 | NTSC | |
| 映像出力 | 出力レベル | ：1 Vp-p（75 Ω） |
| | 出力端子 | ：ピンジャック |
| | 端子数 | ：1系統 |
| S映像出力 | Y出力レベル | ：1 Vp-p（75 Ω） |
| | C出力レベル | ：0.286 Vp-p（75 Ω） |
| | 出力端子 | ：S端子 |
| | 端子数 | ：1系統 |
| D1映像出力 | Y出力レベル | ：1 Vp-p（75 Ω） |
| | $C_B$出力レベル | ：0.7 Vp-p（75 Ω） |
| | $C_R$出力レベル | ：0.7 Vp-p（75 Ω） |
| | 出力端子 | ：D端子 |
| | 端子数 | ：1系統 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 音声出力 | 出力レベル：2 Vrms（1 kHz、0 dB） |
| | 出力端子　：ピンジャック |
| | 端子数：<br>2 CH　：1系統<br>サブウーハー出力（0.1 CH）　：1系統 |
| 音声出力特性 | （1）周波数特性<br>● DVD（リニア音声）<br>4 Hz～22 kHz（48 kHzサンプリング）<br>4 Hz～44 kHz（96 kHzサンプリング）<br>● CD<br>4 Hz～20 kHz（EIAJ）<br>（2）S／N比<br>● CD<br>115 dB（EIAJ）<br>（3）ダイナミックレンジ<br>● DVD（リニア音声）<br>102 dB<br>● CD<br>98 dB（EIAJ）<br>（4）全高調波歪率<br>● CD<br>0.0025 %（EIAJ） |
| デジタル音声出力 | 光デジタル出力：光コネクター |

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

日本コロムビア株式会社

本　社　〒107-8011　東京都港区赤坂4-14-14
TEL：（03）3584-8111（大代表）

後日のために記入しておいてください。

| 購 入 店 名： | 電　話（　　-　　-　　） |
|---|---|
| ご購入年月日：　　　　年　　　月　　　日 | |

Printed in Japan
RQT6066-S